

伝統的な家族からの解放

一家に囚われない家族の形や独身率増加の変遷

氏名：山根尚子

明治や昭和の時代では、「男性は外に働きに行き、女性は家の中で働く」といった性別分業のかたちや血縁関係を重視する家族のかたちが多かった。しかし近年では、伝統的な家族に囚われない家族の形が多く存在する。夫婦別姓や別居夫婦などがその例に挙がるだろう。また、レズビアン家族やゲイ家族のような同性家族も注目されている。前近代まで幸せの条件に「結婚」がはいていたが、最近では「結婚」は幸せになるための手段であり、それを選択しない自由も認められてきている。そして、「結婚」を選択しなかった人びとは生涯孤独に生きていく人のみならず、各々でコミュニティを作って生きていく人も多くいる。その代表的な例がシェアハウジングである。さらに同性カップルにおいては血縁や「父と母」の概念に囚われずに子を持ち家族を形成している人びとも存在する。近年、家族というものは血縁や戸籍に関係なく各々が選び取ることで「本当の家族」を形成しているのである。そしてこれは、「戸籍上の家族」のなかで苦しんでいる人びとにとって、そこから脱出し、新たな選択肢を作るきっかけとなるのではないだろうか。